

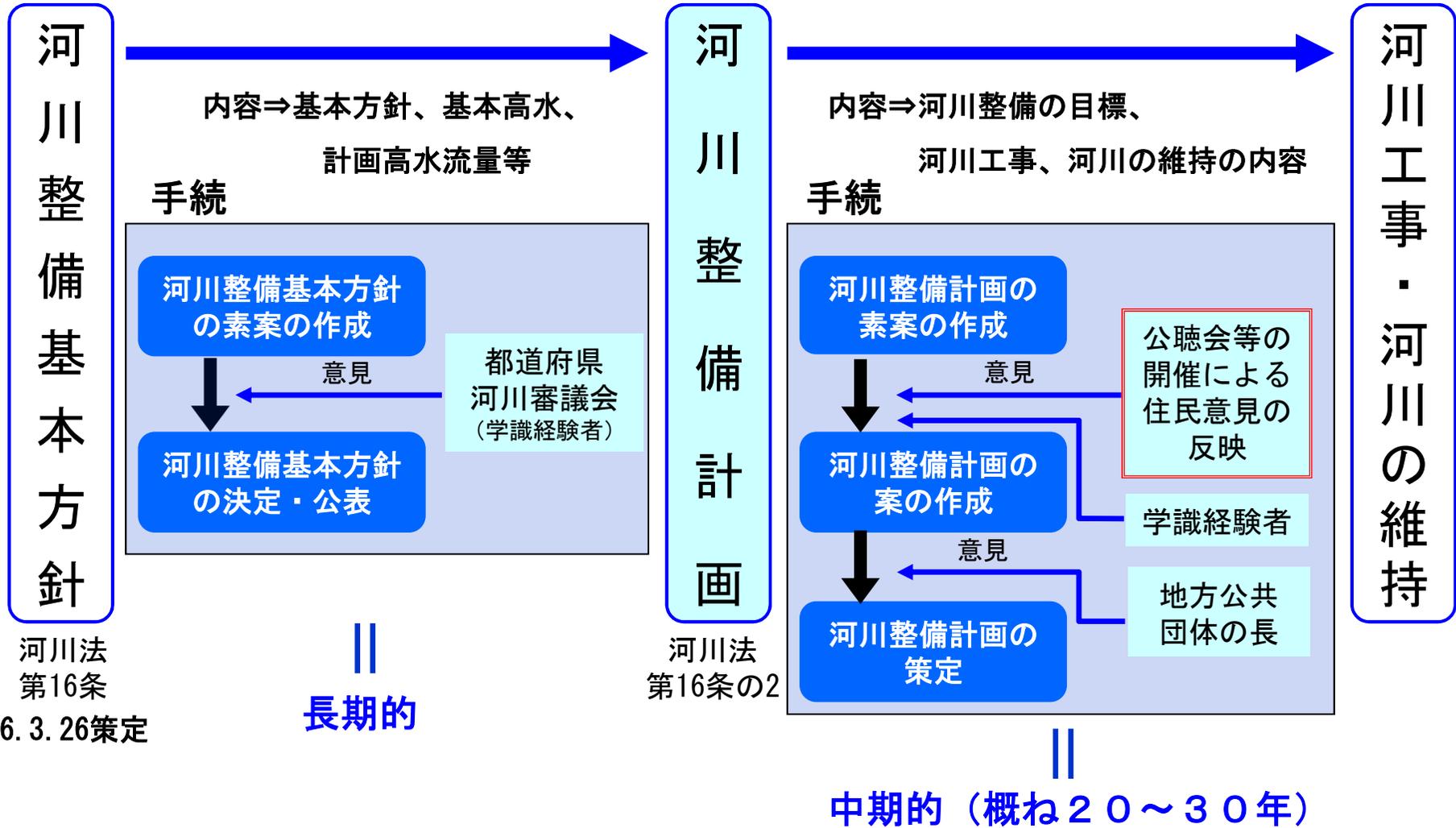
山田川を考える会



令和6年 6 月 2 8 日
和歌山県

河川の計画制度

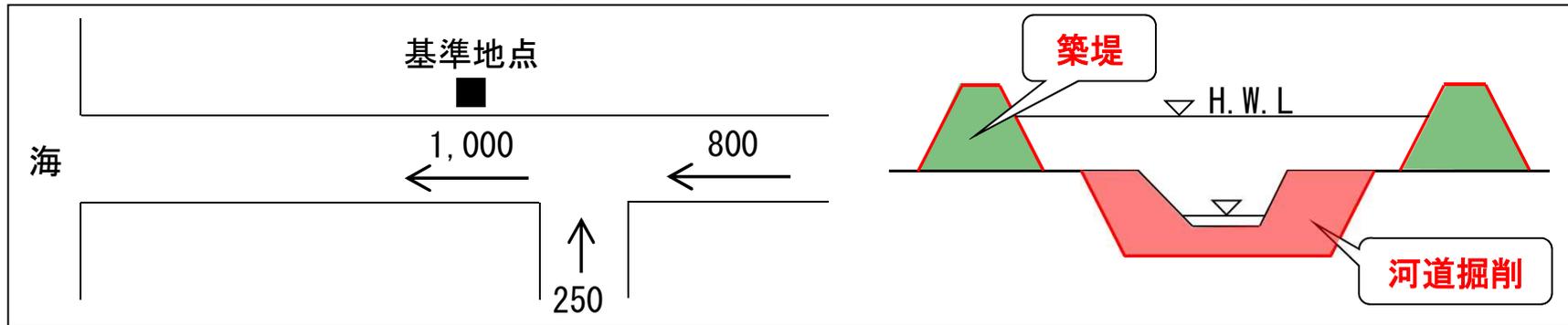
河川改修工事に至るまで



河川整備基本方針と河川整備計画

■河川整備基本方針

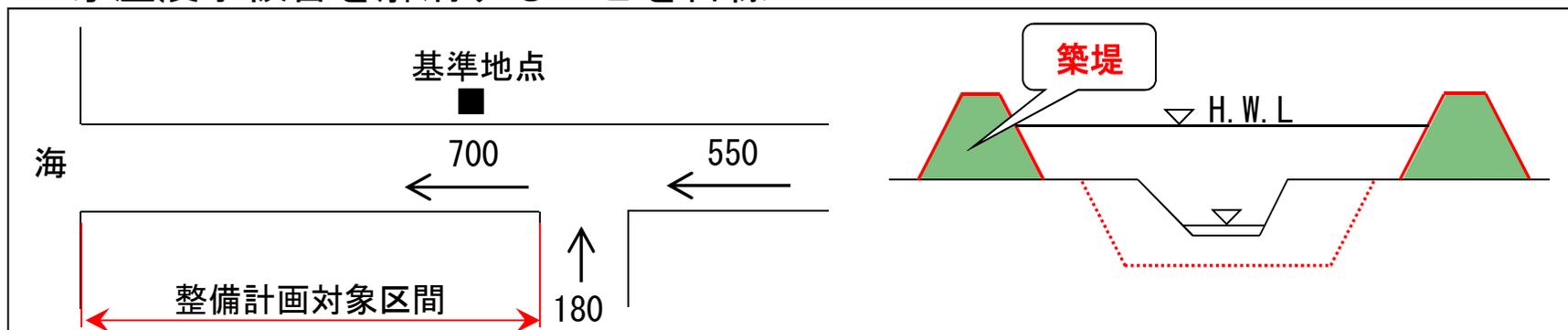
例) 既往最大洪水と同規模の洪水を安全に流下させることを目標



多大の費用と相当の期間が必要となることから、
早期に一定の整備効果を発現させるための段階的な整備

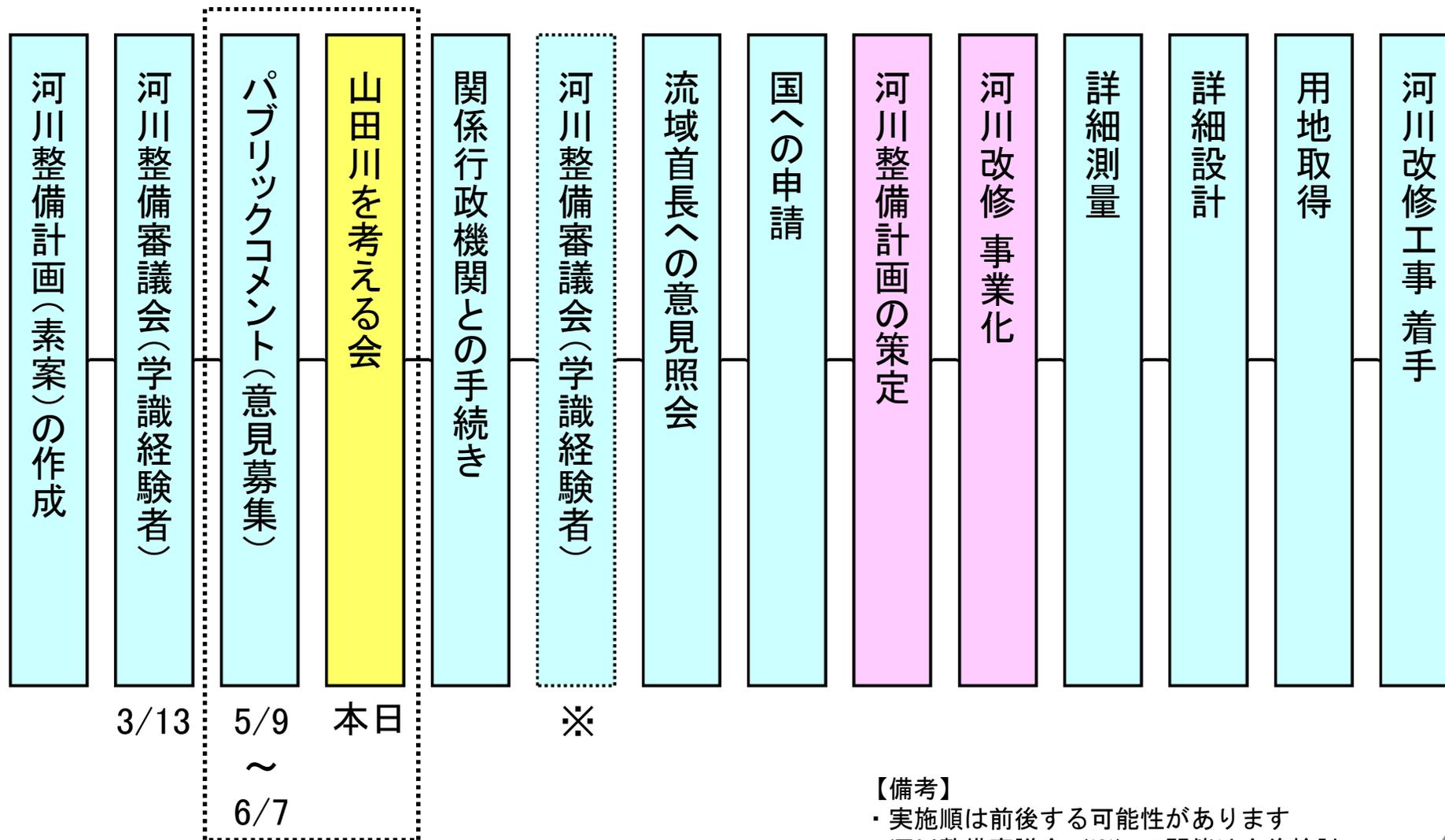
■河川整備計画

例) 既往最大洪水に次ぐ大きな被害をもたらした洪水と同規模の洪水に対して、
家屋浸水被害を解消することを目標



河川整備計画策定に向けた流れ

河川改修工事に至るまで



【備考】

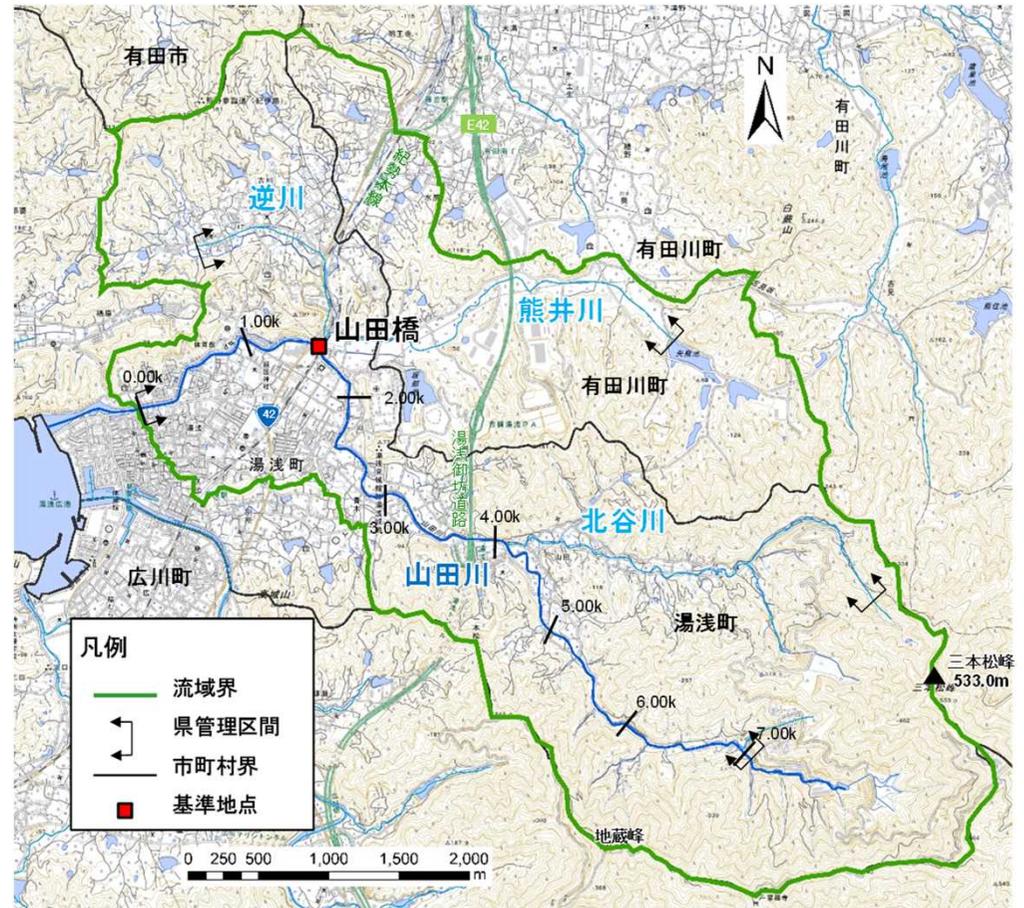
- ・実施順は前後する可能性があります
- ・河川整備審議会(※)の開催は今後検討

流域図

- 幹川流路延長：約9km
- 流域面積：約19km²



位置図

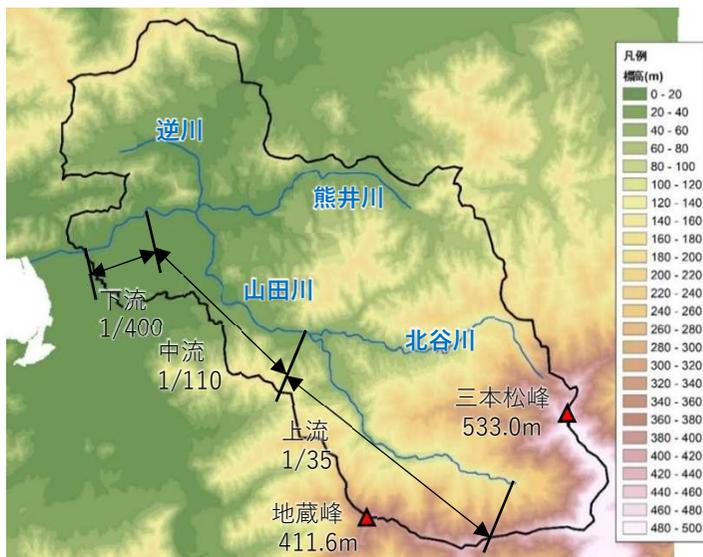
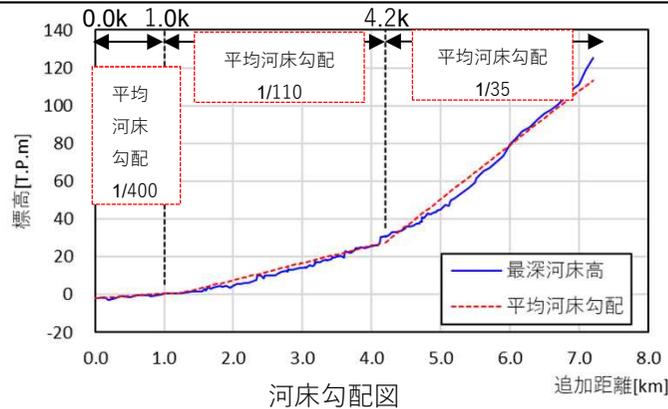


流域図

流域の地形・気候

○地形

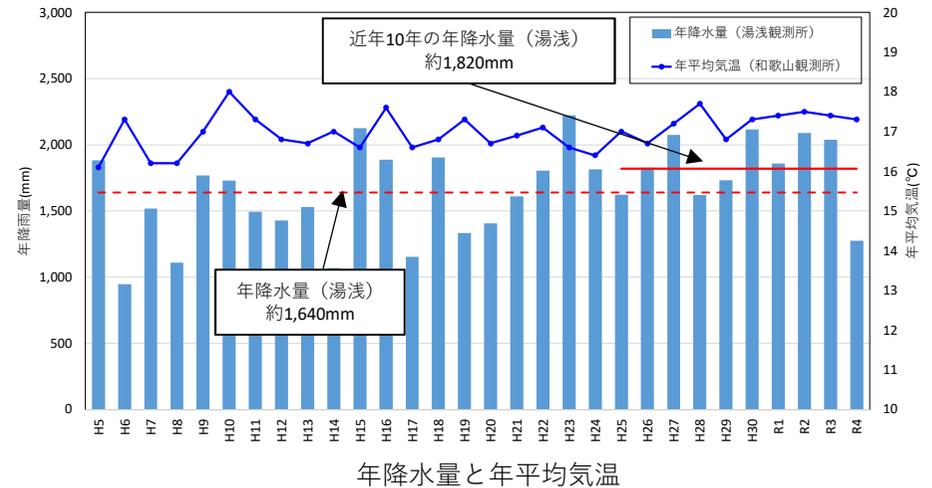
- 三本松峰、地藏峰に代表される標高400m～500m程度の山地を流域の南東に有し、上流から中流にかけて谷底平野が、下流には海岸平野が形成
- 河床勾配は、上流で1/35程度、中流で1/110程度、下流で1/400程度



流域の地形 (出典：数値標高モデル 10mメッシュ (標高))

○気候

- 瀬戸内気候区と南海気候区の間に位置し、年平均気温は約17°C (和歌山)
- 近年の年降水量は約1,820mm (湯浅)



年降水量の分布図

※「和歌山の河川」より

過去の浸水被害

- 過去から深刻な浸水被害が発生しており、治水事業が実施されてきた
- 平成15年台風第10号や令和5年6月台風第2号等、近年も被害が発生

主要な浸水被害

| 発生年月 | 災害種別 | 床下浸水 [戸] | 床上浸水 [戸] |
|-----------------------|--------------|-------------|-------------|
| 昭和42 1967 (7.8~10) | 豪雨 | 103 | 5 |
| 昭和44 1969 (6.20~7.14) | 梅雨前線豪雨 | 9 | 3 |
| 昭和47 1972 (8.17~22) | 豪雨 | 6 | 0 |
| 昭和49 1974 (7.1~7.12) | 台風第8号及び豪雨 | 206 | 10 |
| 昭和50 1975 (8.5~8.25) | 豪雨及び暴風雨 | - | 377 |
| 昭和51 1976 (9.7~9.14) | 台風第17号と豪雨 | 236 | 6 |
| 平成13 2001 (9.1~9.8) | 豪雨 | 3 | 0 |
| 平成15 2003 (8.6~10) | 台風第10号 | 15 | 2 |
| 平成16 2004 (6.19~22) | 梅雨前線豪雨及び台風6号 | 3 | 0 |
| 平成16 2004 (12.4~6) | 豪雨 | 8 | 0 |
| 令和 5 2023 (6.2~3) | 豪雨及び台風第2号 | 25 | 9 |

【令和5年 一之橋付近】



昭和53年（1978）～平成14年（2002）
山田川本川、支川の熊井川・逆川で
局所改良事業、小規模河川改良事業等

昭和26年（1951）～昭和31年（1956年）
河口～国道42号区間で中小河川改良事業

治水事業の沿革

河川整備計画の目標

- 河川整備計画では、河川整備基本方針で位置づけた目標に向けて下流から順次、整備を実施
- 過去の洪水被害やこれまでの整備状況、計画期間内に達成すべき整備水準等を考慮し、**年超過確率1/10規模に気候変動の影響を考慮した流量（山田橋：260m³/s）** に対して整備を進める

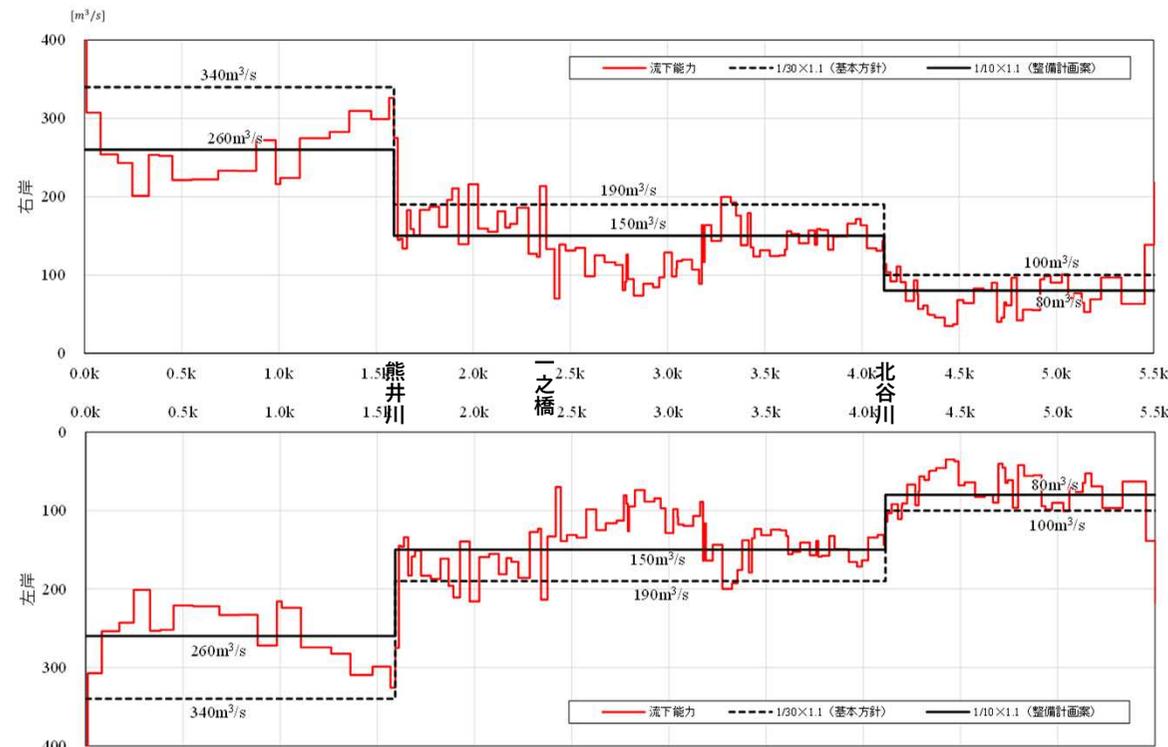
【過去の整備状況】

- ・ 昭和23年の出水後、河口～国道42号間で整備が進められた
- ・ 昭和50年他の出水後、藪田井堰（2.3k）付近まで整備が進められた

【河川整備計画の計画規模】

- ・ R5.6豪雨では山田川の一之橋付近で氾濫が発生
- ・ 今回の計画では、同洪水相当の規模への対応を目指す

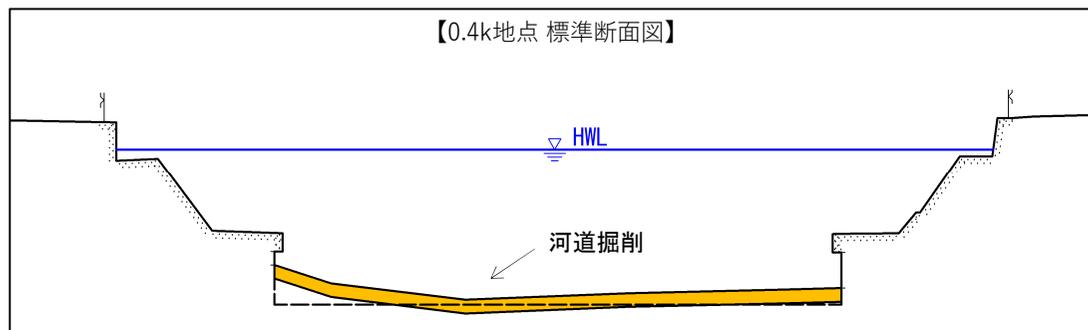
【河川整備計画の対象期間】 概ね20年



流下能力図

河川整備の概要

①0.0k~1.4k (北橋~山田橋下流付近)

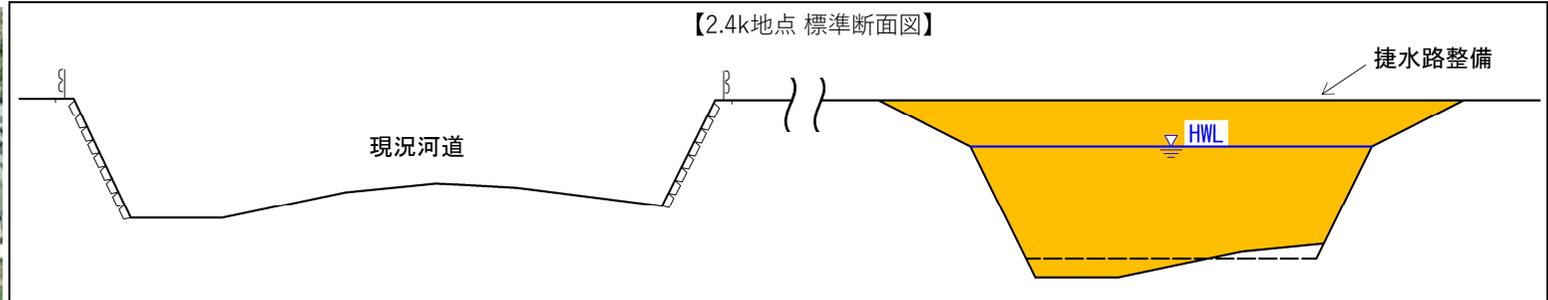


河川整備の概要

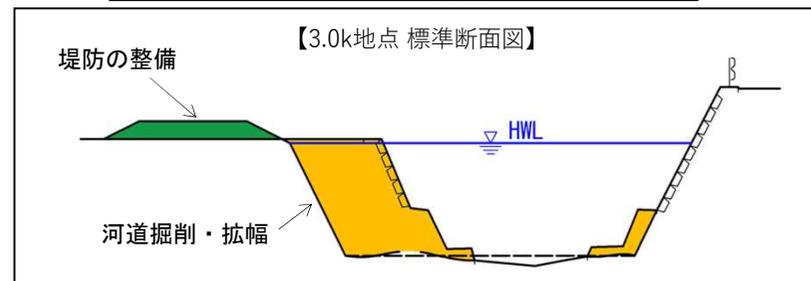
②2.3k~3.2k (番外橋~固定堰上流付近)



【2.4k地点 標準断面図】



【3.0k地点 標準断面図】

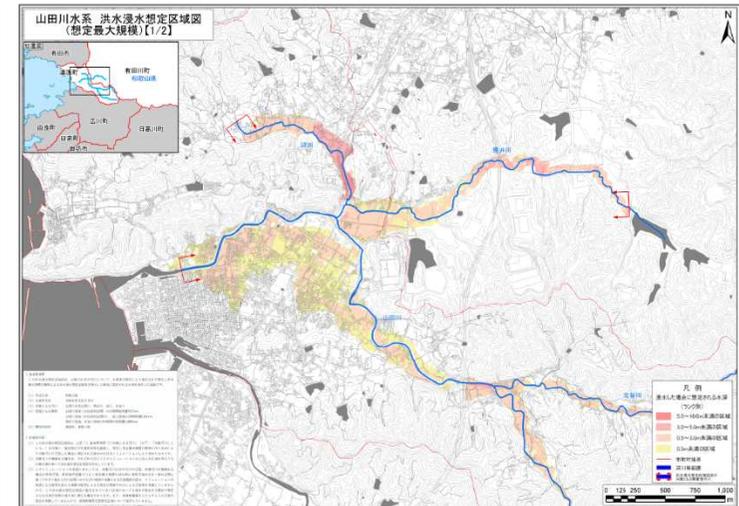


流域治水

- 流域全体で、あらゆる関係者が協働して行う「**流域治水**」の取組を推進
- 取組の一つとして、**洪水ハザードマップの作成**や水防体制の維持・強化、要配慮者利用施設等における避難の実行性確保の取組を支援
- 水災害に対して**速やかに命を守る行動**が取られるよう出前講座等を開催



「流域治水」の施策イメージ



洪水浸水想定区域図



和歌山県 有田振興局管内 河川映像
 @user-fu1pd1zdd4d - チャンネル登録者数 199人
 このチャンネルの詳細 >
 kasensabo01.pref.wakayama.lg.jp/mainMap.html
 チャンネル登録

ホーム ライブ コミュニティ

ライブ配信中

河川監視カメラ映像のYouTube配信

河川の利用

- 地域の水利用実態を把握することで、効率的な利用を促進し、魚類等の生息環境や良好な水質、景観等が維持されるように努める
- 自然豊かな環境と醤油醸造の伝統を今も残す伝建地区や熊野古道が織りなす景観に配慮し、人々に親しまれる河川空間の維持や河川美化、水質事故対応等に努める

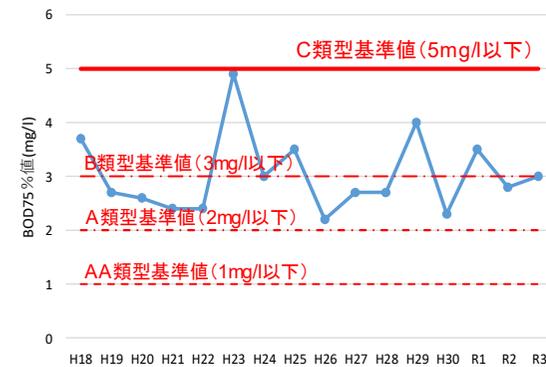
【河川水の利用】

- ・慣行水利権・・・21件
(農業用水)
- ・許可水利権・・・1件
(湯浅町水道用水)



湯浅町横田浄水場 (水道用水)

【水質】 ・環境基準C類型相当



BOD75%値 (希望橋地点)

【河川空間利用】

- ・河口付近は伝建地区や熊野古道紀伊路など、歴史的な風致が今も残り、周辺は遊歩の場として利用



山田川と伝建地区



景観に配慮した沿川の歩道

河川の環境

- 流域で形成されている**動植物の生息・生育・繁殖環境が引き続き維持**されるよう、河川環境に関する調査に基づき、それぞれの特性を踏まえた環境の保全に努める

- 魚 類 : ドジョウ(NT,DD)、ミナミメダカ(VU,VU)、シロウオ(VU,CR+EN)
- 底生動物 : カノコガイ(SI)、ハマガニ(NT)、ヒメヒライソモドキ(NT)
- 鳥 類 : アオサギ、カワセミ、メジロ
- 植 物 : アラカシ、ツルヨシ、アコウ(NT)

等の多数の種目を確認



ハマガニ

【環境省レッドリスト 2020(下線なし)】:EX(絶滅)、EW(野生絶滅)、CR+EN(絶滅危惧 I 類)、CR(絶滅危惧 I A 類)、EN(絶滅危惧 I B 類)、VU(絶滅危惧 II 類)、NT(準絶滅危惧)、DD(情報不足)、LP(絶滅のおそれのある地域個体群)

【和歌山県レッドリスト 2022(下線あり)】:EN(絶滅)、CR+EN(絶滅危惧 I 類)、CR(絶滅危惧 I A 類)、EN(絶滅危惧 I B 類)、VU(絶滅危惧 II 類)、NT(準絶滅危惧)、DD(情報不足)、SI(学術的重要)

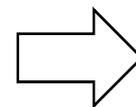
河川の維持管理

- **浚渫や樹木伐採を実施**、河川管理施設の適切な維持管理に努める

【藪田井堰・番外橋下流】



< 施工前 >



< 施工後 >